



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年1月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第360号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「嘉納治五郎 ～精力善用・自他共栄～」

新木小学校の5年生で、Abi - ふるさと「嘉納治五郎」の授業が行われました。「柔道の父」としての功績及び生き方や精神について理解し、チャレンジ力をもつことを今日のゴールに決めました。

まず「柔道」についての知識を共有しました。オリンピック種目であり、世界各国で親しまれている柔道。その柔道を広めた人が、嘉納治五郎であることを知ると子ども達はとても驚いていました。

次に、補助教材を活用し「嘉納治五郎」について詳しく学びました。身体が小さく弱かった治五郎は、自分を鍛え「精力善用」と「自他共栄」という精神を大事にしていました。児童からは、自分のことだけでなく、多くの人のことを考え「柔道のすばらしさを世界に知らせたい」「スポーツの精神を広げたい」と願った嘉納治五郎に感心する意見がでました。

他にも、我孫子に別荘を建てたこと、白樺派の文人たちを呼び寄せたこと、今の白山地区に農園をつくったこと、我孫子第一小学校に書を贈ったことなどを知り、明治時代を生きた我孫子の先人を身近に感じました。

嘉納治五郎の幼少期の生活やどのように体を鍛えたのだろうかなど、授業で学んだことを基に新たな疑問を持つ声が聞こえ、「もっと知りたい」という思いが育つ授業でした。



Abi-ふるさと「町たんけんをしよう」

湖北小学校2年生生活科「わたしたちの町、はっけん」の単元で、町探検で行った場所について友だちに伝える授業が展開されました。本時は、楽しみながら発表するなかで、自分たちの町にある施設、場所の様子やよさ、働く人の様子について気づくことをねらいとしています。

学習計画や「湖北はかせ」と書かれた教室の掲示物や、児童のノートにあるワークシートから発表会に向けた準備がきめ細かく行われていることを感じました。

発表は、作成した壁新聞や資料を使い、ポスターセッションを行いました。クイズを交えながら全員が発表できるよう役割分担をし、緊張しながらも一生懸命に発表しました。

発表の最後に述べた感想も「〇〇の大変さがわかった。」「〇〇を知ることができてよかった。」など、学習の成果を実感できるものでした。全ての児童が楽しくて仕方がないといった様子で意欲的に活動していました。発表後は、授業の余韻を楽しむかのように口々に感想を呟いたり、友だちと会話をしたりしながら、ワークシートに振り返りを記入しました。

授業のねらいを十分に達成した1時間であるとともに、今後も地域の人材や資源を活用し、「地域に誇りをもち地域を愛する、そして地域の将来を担う人材の育成」に取り組んでほしいと感じる授業でした。

